

第17回理事会（10月22日午前）

10月22日午前、EASTICA 第17回理事会が開催され、既卒者向けアーカイブズ学講座などの活動報告がされたほか、2008年の活動方針案、議長・副議長を初めとする役員候補案などが了承されました。



冒頭挨拶する菊池光興国立公文書館長



開会の辞を述べる段東升中国国家档案局副局长

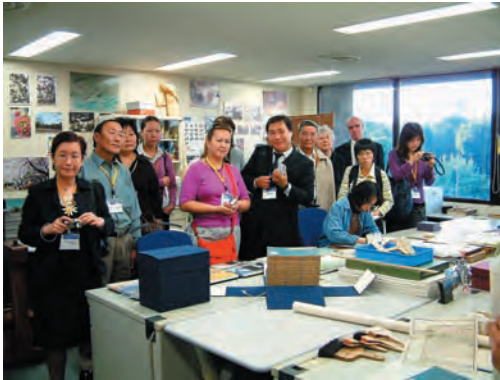


司会進行するサイモン・チュー事務局長



2006年 CITRA について報告する李相敏会計官

国立公文書館視察（10月22日午後）



修復室を視察するモンゴル等からの参加者



貴重書庫を視察する韓国からの参加者

10月22日午後、EASTICA 総会・セミナー参加者は、国立公文書館を訪れ、特別展「漢籍」内覧やデジタルアーカイブ・デモンストレーションのほか、修復室、閲覧室、貴重書庫、一般書庫などを視察しました。



一般書庫を視察する中国からの参加者



特別展「漢籍」を観覧するティボドー夫妻



デジタルアーカイブ・デモンストレーションを見る中国からの参加者

開会式（10月23日午前）



開会挨拶をする菊池光興館長



開会挨拶をする段東升中国国家档案局副局长



歓迎挨拶を述べる内田俊一内閣府事務次官



歓迎挨拶を述べる石井米雄人間文化研究機構長・
アジア歴史資料センター長



10月23日午前9時30分から、EASTICA 総会及びセミナーの開会式が行われました。開会式終了後、参加者全員の記念撮影が行われました。

第8回総会（10月23日午前）



10月23日午前10時30分から、第8回総会が開かれ、今後1年間の活動方針が了承されたほか、菊池光興当館館長が、新議長に選出されました。

写真は、左から、菊池光興館長、段東升中国国家档案局副局长、李相敏 EASTICA 会計官、朱福強 EASTICA 事務局長



2008年 EASTICA セミナーの招聘演説を行う
尹大鉉韓国国立公文書館記録管理部長



2009年 EASTICA 総会及びセミナーの招聘演説
をする潘积仁中国青島市档案馆副館長



写真は、前列右から、菊池光興当館館長、段東升中国国家档案局副局长、後列右から、李相敏 EASTICA 会計官、朱福強 EASTICA 事務局長、マリー・マクロードマカオ歴史档案館長、尹大鉉韓国国立公文書館記録管理部長、デンベレル・ウルジバターモンゴル国立公文書館長

セミナー セッション1

基調講演（10月23日午後）



基調講演を行うティボドー氏

10月23日午後は、セミナー・セッション1として、基調講演が行われました。まず、ケネス・ティボドーアメリカ連邦政府国立公文書記録管理局 ERA プログラム・ディレクターが、「現代の記録を未来へ - 米国 NARA の挑戦 - 」と題して、講演を行いました（講演内容は、31頁）。



コーディネーターのマクロード氏



ティボドー氏の基調講演を聴く参加者たち



質問する菊池光興当館館長



質問する金才淳氏（韓国国立公文書館）

つづいて、杉本重雄筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授が、「電子文書の円滑な保存・利用に向けて」と題する基調講演を行いました（講演内容は、50頁）。



基調講演を行う杉本重雄教授



コーディネーターのヘレン・スィナートン氏
(HSBC アジア・太平洋アーカイブズ)



質問するティボドー氏



質問する李相敏氏



杉本教授に拍手を贈る参加者たち

セミナー セッション2

国・地域別報告/ICA2008年大会紹介（10月24日午前）



10月24日午前、セミナー・セッション2として、中国、韓国、モンゴル、日本及びマカオの発表者から国・地域別報告が行われました（報告内容は59頁）。



張曼氏（中国国家档案局）



コ・ディネーターのダニー・チンマン・チン氏
（ユタ系図協会）



金才淳氏（韓国国立公文書館）



ゲンデンガルヤ・ブーヤンキシシ氏
（モンゴル国立公文書館）



中島康比古国立公文書館利用係長



マリー・マクロードマカオ歴史档案館長



ICA2008年大会を紹介するシャイディン・シャフィー氏 (マレーシア国立公文書館)

引き続き、2008年の ICA 大会の紹介プレゼンテーションが行われました。その後、閉会式が行われ、菊池光興当館館長が、EASTICA 新議長として、閉会の辞を述べました。



閉会の辞を述べる菊池光興館長

シンポジウム（10月24日午後）

10月24日午後は、シンポジウム「デジタル時代のアーカイブ - アジアからの発信 -」が開催されました。まず、東京大学史料編纂所の保立道久教授と、マレーシア国立公文書館電子記録支援業務責任者のシャイディン・シャフィー氏が講演を行いました（講演内容は、85頁）。



コーディネーターの高山正也国立公文書館理事



講演する保立道久教授



講演するシャイディン・シャフィー氏



休憩をはさんで、保立教授、シャフィー氏のほか、中国の陳伝氏、韓国の金才淳氏、そして、アメリカのケネス・ティボドー氏によるパネル・ディスカッションを行いました。



陳伝氏（北京市档案馆）



金才淳氏（韓国国立公文書館）



ケネス・ティボドー氏



議論に聞き入る参加者



閉会の辞を述べる金容媛教授

パネリストのコメントや質疑応答のあと、会場の参加者を交えた熱のこもった議論が展開されました。

最後に、参加者を代表して、金容媛駿河台大学文化情報学部教授が閉会の辞を述べて、シンポジウムは終了しました。

視察（10月25日）



10月25日、総会・セミナー参加者は、印刷博物館及び裏千家東京出張所を訪問しました。印刷博物館では、樺山紘一館長からの歓迎の挨拶のあと、企画展示「百学連環」のほか、世界の印刷の歴史をたどる展示を観覧しました。



裏千家東京出張所では、お茶室での茶道、日本庭園の美など、日本文化の一端に触れるひとときを過ごしました。





懇談のスナップ写真から

